

「提言コンセプト」と「地域共生策」－大阪・関西IRによる3つの支援コンテンツ－

＜提言コンセプト＞

「関西広域観光」をテーマにした「地域共生策」で、大阪と関西のWIN&WIN関係を構築する。

＜大阪・関西IRの競争戦略＞

IRによる集客メリットに加えて、「関西広域観光」をテーマにした地域共生策により、名実ともに関西が1つになることが、他のエリアには無い、極めて強い「競争優位性」を発揮する。



大阪・関西IRのハブ機能を活かし、大阪（夢洲）を基点に、訪日観光客によるツーリズム効果を関西全域に波及させる。

＜大阪・関西IRが
目指す効果＞

- ① 経済波及効果
- ② 雇用促進効果
- ③ 地域の魅力向上

＜地域共生策－大阪・関西IRによる3つの支援コンテンツ＞

- ① 関西の観光コンテンツである「伝統文化」・「芸術」・「歴史的遺産」
- ② 大阪・関西IRを支える「高度なグローバル人材育成」
- ③ 関西のツーリズム振興を目的とした「関西広域連携DMO」

提言骨子

提言の目的

「大阪・関西にIRを誘致することは、関西の経済活性化を図るための、極めて重要な施策である」ということは、関西経済同友会がかねてから指摘しているところである。現在、日本各地で、法の整備を待ちながら、誘致への準備が進められている。このような背景から、関西経済同友会では、官民一体による大阪へのIR誘致の実現を目指し、他のIR候補地との差別化戦略による「地域共生策」を、大阪府市に対し提言する。

提言の方向性

「関西広域観光」を支援し、地域を活性化する「地域共生委員会」の設置。
支援先への原資は、カジノからの収益を充てる。

- ① 単なる「地元対策」ではなく、関西地域を活性化させる、観光インフラ投資の意味合いを持つ「地域共生策」を提言する。
- ② IRをハブとして、大阪の魅力（都市機能/ショッピング・食等）に関西の魅力（歴史・文化等）を融合する関西広域観光は、地域の相互補完による大きな相乗効果を創出する。
- ③ 急速に拡大する訪日市場に対応する「関西広域観光」の3つの課題点を、カジノ収益による支援の対象とする（関西の魅力ある観光コンテンツ、不足するグローバル人材、関西広域連携DMO）。また、「地域共生委員会」にて、具体的な支援先や収益の配分について協議する。
- ④ 3つの支援における原資については、カジノからの収益（粗利の1～3%程度）を充てることとするが、税法の損金算入や税額控除などを踏まえ、国際競争力のある水準に定める必要がある。

提言-1

関西の魅力ある観光コンテンツ「伝統文化・芸術・歴史的遺産」をサポートする組織団体（「アーツサポート関西」等）を支援

〔支援対象〕

- ① 上方文化（「文楽」「歌舞伎」「能」「狂言」等）、関西の伝統文化（舞妓・祭等）、伝統工芸の保存、継承、発展、振興につながる事業
- ② 音楽、美術、演劇等の芸術家支援や発表の舞台の提供
- ③ 歴史的文化的遺産・歴史的建造物（寺社等）の保存

〔支援方法〕

- ▶ 上記サポート組織団体が承認した支援対象事業を執行する為の資金協力
- ▶ 上方文化や伝統文化のPRを目的とした、IR施設の一部無料開放（無料開放期間の設定等）

提言-2

大阪・関西IR、さらにはサービス産業、特に観光分野を支える高度なグローバル人材育成を行う「専門教育機関」を支援

〔支援対象〕

- ① IR事業への従事を目的とした専門人材育成
- ② 文化・芸術・芸能・スポーツイベント等をプロデュース、サポートできる高度人材育成
- ③ 訪日観光客に対応できる多言語能力・ホスピタリティを持つグローバル人材育成

〔支援方法〕

- ▶ 「専門教育機関」の設立、運営に対する資金協力
- ▶ IR事業に携る際の研修、実習、インターンシップ、寄附講座等の提供

〔《要望》より効果的な専門人材育成を目指して〕

- ▶ IR事業への従事を目的とした専門カリキュラムに対する奨学金制度の導入
- ▶ IR事業に従事するスペシャリストの養成とキャリアアップを応援する為、「資格制度の導入」と「資格認定機関の設置」を国に要望する。

提言-3

関西のツーリズム振興を目的に、関西広域連携DMO（「関西国際観光推進本部」等）を支援

〔支援対象〕

- ① 関西広域観光に関する「マーケティング」・「プロモーション」活動
- ② 訪日観光客や大型MICEの誘致力向上に向けた、「観光プロデューサー」や「MICEプロデューサー」の設置、育成、活動

〔支援方法〕

- ▶ 関西広域連携DMOに対し、支援対象事業を執行する為の資金協力、活動協力

〔《要望》「関西ミュージアム」（仮称）の設置へ〕

- ▶ 大阪・関西IRを基点とした関西広域観光プロモーションの実現を目指して、IR事業者に対し、IR施設内に、関西広域観光情報の一元管理、多言語案内（情報発信）観光コンテンツの予約・販売、文化体験の場を提供する「関西ミュージアム（仮称）」の設置、運営を要望する。